

# 水系強力防錆プライマー ミツチャクロン WP・X

電気亜鉛メッキ、アルミニウムなど、多種多様な素材に対応  
水系、一液速乾型、防錆プライマー

電気亜鉛メッキ、アルミニウム、ステンレス、溶融亜鉛メッキ、銅板、黒皮被膜等の密着の難しい金属素地面はじめ、コンクリート面、耐溶剤性の悪いアスファルト面、発錆面、活性塗膜（一部除く）と幅広い被塗面に使用することができます。



左：3.7L / 右 16L

**色調** クリヤー（乾燥前は乳白色）/ ホワイト / ブラック

**目的** 車両、構造物防錆、一般建築塗装、工業塗装下地

**用途** ・車両、金属加工品の防錆塗装  
・コンクリート、モルタル、アスファルト面の浸透補強  
・食品工場、公共施設等の内装用塗装  
・溶剤臭等で溶剤系塗料が使用できない場所

**塗布面積** 16L：約 180㎡ / 3.7L：約 40㎡ (80g～100g/㎡)

※塗布面積は目安です。被塗物、作業方法などで異なります。

## 使用方法

### ① 素地調整

被塗面の油分、汚れ、水分、ホコリなどを完全に除去してください。不活性塗膜がある場合は、完全に除去してください。被塗面がシリコン系塗装、フッ素塗装、撥水剤コーティングの場合は、研磨するなどして除去してください。

### ② 下塗り

ミツチャクロンはダブルコート（往復でスプレーすること）で15～20cm程度離し、薄く均一に1～2回塗布してください。薄膜で十分な密着強度が得られますので、厚塗りは避けてください。

※口径 1.0mm のスプレーガンで 80～100g/㎡

乾燥膜厚は 10～15μm 程度が目安です。

※刷毛・ローラーを使用する際は、よくしごいてから塗布してください。

### ③ 乾燥（気温 20℃・湿度 60%の環境下での目安）

上塗りが溶剤系の場合・・・40分以上

上塗りが水系の場合・・・1時間以上

※低温時（5℃以下）または極度に湿度が高い場合には、十分な密着が得られないおそれがあります。その場合には、被塗面を温めておくか、乾燥時間を長く取るなど、塗装条件を考慮してください。

### ④ 上塗り

使用する上塗り塗料の仕様に従って塗装してください。

## 注意点

- ミツチャクロンの厚塗りは避けてください。クボミ等への溜まりが生じた場合は、その部分が密着不良の原因となります。
- ラッカー系の塗料を使用する場合には、乾燥時間を取りながら塗り重ねてください。1度に厚塗りをしますとクラックがおきるのでご注意ください。
- コンクリート、モルタル及び珪カル板等の多孔質面に塗布する場合には、一度に厚塗りせず20～30分（気温20℃・湿度60%の環境下）の時間を取り薄く二度塗りを行ってください。

## 特長

1. 臭いが少なく、一液型で抜群の作業性
2. ペーパー研ぎが不要で、作業工程の短縮が可能（一部を除く）
3. 各種金属面、錆面の浸透防錆下塗りとして使用可能
4. 上塗り塗装も幅広く対応し、塗装機器を選ばず実用的
5. コンクリート、モルタルの浸透補強（塗布量は標準使用量の2倍）
6. アスファルト面（乾燥後）に使用可能※
7. 耐溶剤性の悪い被塗面のシーラー性※

※使用前にお問合せください。

## ■塗装可能な被塗物と適正な上塗りについて

被塗面との密着性	アルミニウム(生)(※1) 一部合金を除く	○
	アルマイト加工品	○
	ステンレス ※一部鏡面肌除く ※SUS304・404	◎
	ガルバリウム	◎
	銅	○
	スチール	△
	カラータタン(※1)	◎
	焼付塗装塗膜(※1)	◎
	電着塗装塗膜	◎
	フッ素加工品(※2)	△
	化成皮膜処理物・ボンデ鋼板(※3)	◎
	電気亜鉛メッキ(※4)(※5)	○
	溶解亜鉛メッキ(※4)	△
	鉛・真鍮・クロムメッキ	○
	コンクリート・モルタル	○
	ポリプロピレン(PP)	△
	ポリカーボネイト	△
	硬質塩ビ	△
	ABS(※6)	△
	FRP	△
適正な上塗り	ポリ化粧板	△
	アクリル板	△
	メラミン化粧板	△
	ガラス・ホーロー	△
	磁器タイル ※釉薬処理されているものを除く	△
	1液反応硬化型ウレタン塗料(弱・強溶剤)	○
	2液反応硬化型ウレタン塗料(弱・強溶剤)	◎
	2液反応硬化型アクリルウレタン塗料(弱・強溶剤)	◎
	1液型エポキシ塗料	○
	2液反応硬化型エポキシ塗料	◎
	アクリルラッカー塗料	○
	ストレートアクリル塗料	△
	反応硬化型水性塗料	○
	アクリルエマルジョン	○
	メラミン焼付け塗料(150℃程度)	△
	アクリル焼付け塗料(180℃程度)	△
	エポキシ焼付け塗料(180℃程度)	△
	粉体焼付け塗料(200℃程度)	△
	UV塗料	△
	アクリルシリコン(※7)	△
合成ペンキ フタル酸エナメル塗料	○	
2液反応硬化型フッ素塗料(弱・強溶剤)	△	

表記中の記載内容は、気候や、素材の状態、作業環境等によって変化する可能性があります。作業中にご参考いただく一資料としてご利用下さい。

※1 被塗面に使用している塗料により異なる為、塗装前にテストが必要

※2 表面のフッ素の除去が必要

※3 ラッカー塗料は厚塗り厳禁

※4 亜鉛処理後、酸化被膜が形成したものに塗装可能

※5 被塗面の処理方法により密着性が異なる可能性

※6 素材の硬度により、溶剤で素材を傷める可能性

※7 お問い合わせください

※アルミニウム合金は一部密着性の弱い物がある為、使用前にお問い合わせください。

## ■水系ミッチャクロン WP・X 標準仕様

工程	塗料・塗布量・塗装方法
1. 素地調整	塗装面の汚れ(サビ、油、水分、ホコリ)を溶剤、サンドペーパーなどで除去
2. 下塗り	ミッチャクロン WP・X を塗布、塗布量は80~100g/m <sup>2</sup> 、塗装方法は、スプレー、刷毛、ローラー可
3. 乾燥	2~2.5時間(気温20℃・湿度60%の環境下) ※30℃以上:1.5~2時間/10℃以下:3~4時間
4. 上塗り	個別上塗りの仕様により塗装

## ■性状

項目	性状
容器内の性状	乳白色(クリアー)/ホワイト/ブラック 溶液
比重	0.9
標準塗布量	10~15μm 80~100g/m <sup>2</sup>
作業方法	吹付塗装、刷毛塗装、ローラー塗装
指触乾燥	15分(気温20℃・湿度60%の環境下)
上塗り可能時間	40分以上(気温20℃・湿度60%の環境下)
貯蔵安定性	12ヶ月間異常なし(気温20℃・湿度60%の環境下)

## ■塗膜性能試験データ

項目	試験内容	結果
付着性	1mm×1mmのゴバン目セロテープテスト	100/100
屋外暴露	4,000時間 二次密着 100/100	異常なし
耐衝撃性	Dupon式 1/2inch 500g 50cm	合格
耐水性	20℃ 水道水 240時間浸漬	異常なし
耐アルカリ性	20℃ 2%水酸化カルシウム 24時間浸漬	異常なし
耐酸性	20℃ 2%硫酸水溶液 24時間浸漬	異常なし
耐熱性	100℃ 20分	異常なし

被塗物: SECC(電気亜鉛メッキ鋼板)

工程: ①被塗面脱脂

②ミッチャクロン WP・X 塗布(スプレーガン塗装)

1時間乾燥(気温20℃・湿度60%環境下)

③上塗り 10:1 アクリルウレタン塗料(スプレーガン塗装)  
自然乾燥 7日間

※カタログに記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。

【販売元】

【製造元】

再生・延命化への技術革新 — 鉄、コンクリート…

**株式会社 染めQテクノロジー**

〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋5971番地

TEL.0280-80-0005(代) FAX.0280-80-0006(代)

E-mail:support@somayq.com http://www.somayq.com